

# ているるちゃんがいく！

Vol. **53**  
2019.2

- 特集1 全国女性会館協議会 第62回全国大会in沖縄
- 特集2 女性に対する暴力をなくす運動 ラジオCM & パネル展
- 好評連載中！ すてきなあなたにインタビュー
- 事業報告と講座案内
- ご案内

# 第62回全国大会 in 沖縄

平成30年12月8日(土)、9日(日)に沖縄県男女共同参画センター「ていりる」において特定非営利活動法人全国女性会館協議会 第62回全国大会 in 沖縄が開催されました。特定非営利活動法人全国女性会館協議会と沖縄県男女共同参画センター「ていりる」管理運営団体が主催となり、基調講演、パネルディスカッション、4つの分科会、第12回事業企画大賞表彰式を行いました。

## 1日目

### 基調講演

「女性活躍推進社会の光と影  
ージェンダー公正を目指してー」

上野 千鶴子 氏

(社会学者・東京大学名誉教授、  
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長)

上野さんによる基調講演「女性活躍推進社会の光と影ージェンダー公正を目指してー」を開催しました。一般の方の参加申込も多く、430名を越える方々が上野さんの話に耳を傾けていました。

少子化に伴い労働市場がどんどん縮小し、人手不足に陥る。残された資源は「女性」、子どもも産んで育てて欲しい、職業の場でも活躍して欲しい。両方とも期待しているが、働く女性の10人に6人は非正規雇用。男女の賃金格差は広がり、男性並みに働くエリート女性との間にも「女女格差」ができた。

今回の全体テーマである「ジェンダー公正な社会とはなにか」『ジェンダー』の概念はジェンダーの男女の項ではなく、男女というものを分割する行為と分割線そのものであり、分割には『差別』や『上下関係』が組みこまれている。また、『公正』には『フェアネス』のほかにも『ジャスティス(正義)』も含まれる。

人間の生命を産み育て、その死を看取るという労働(ケア労働、または再生産労働)が、その他すべての労働の低位におかれるという労働の編成に内在する格差が根源的な問題である。このケアの問題を解決しない限り、女の問題は解けない。ケアの関係は非対称な関係で、自分に依存している絶対的な弱者を「思うように操りたい」「コントロールしたい」「支配したい」これは権力の濫用の誘惑。完全に依存している存在を自分の意のままにしたいという、この誘惑に抗し続けるという非暴力を学ぶ実践がケアの経験である。



セクハラも権力の濫用である。権力を濫用するより、それに抗する方がずっと難しい。これまで女性たちは自立自立と言ってきた。自立というのは「依存のない状態」。弱者になっても安心して生きていける社会、人に依存しても自律できる社会を作っていくことが大きな課題になるはずだ。

「男女共同参画が、男と同じように競争に勝ち抜くためだけにあるのだとしたら、それは私たちが望んだものではないと思います」と来場者に語りかけた。

### 「パネルディスカッション」

●コーディネーター 上野 千鶴子 氏

●パネリスト

新垣 誠 氏 (沖縄キリスト教学院大学人文学部長)

喜納 育江 氏 (琉球大学国際地域創造学部教授)

マチ・デイルワース 氏 (琉球大学ジェンダー協働推進室長)

基調講演に引き続き上野さんのコーディネーターを務めた。

(沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 男女共同参画・人事担当副学長)



基調講演に引き続き上野さんのコーディネーターを務めた。沖縄県内の現状をそれぞれの視点でみている3人の方々にパネリストとして登壇して頂きました。

喜納育江さんは、女性活躍推進を国が進めることで、女性の問題に聞く耳すら持たなかった男性の教職員が聞くようになり、少しずつ改善してきた「光」の部分がある一方、女性研究者は増えたが、昨今の日本では、女性や若手は優秀な人材と理解されながらも不安定な雇用である「任期付き」でしか採用されないという「影」の部分があると説明。また沖縄では、女性の労働力率のM字カーブが見られないことから結婚後も働く女性が多い一方、家事負担は女性が1日約2時間半に対し、男性は約15分と、過重で過分な家事負担を女性に強いている。沖縄の女性は強くて元気というイメージがあるため、女性には無理をしても良いという世間の誤った認識があると指摘。

新垣誠さんは、女性活躍推進が社会の効率性や有用性で語られることに疑問を呈しました。沖縄では長男を非常に大切にする傾向があり、沖縄特有の価値観が母親からの自立がうまくできないマザコンを生みだしていると説明。今、男性には、効率性とか男性社会が求める男性らしいというものから俯瞰して、命とか人権の視点で自身を見つめ直すことや身体についてしまった暴力性を洗っていく作業が必要と指摘。

マチ・デイルワースさんは、沖縄科学技術大学院大学(OIST)の取り組みを説明。男女共同参画の究極の目的は、それぞれのポテンシャルをフルに達成できる環境をつくることで、女性の共同参画を妨げている要因として「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」があることを説明。男女共同参画活動が定着するためには、女性個人個人のサポートでは進歩がなく内部組織全体、あるいはその風土

カルチャーそのものを根本的に変える必要があると指摘。

当事者が声をあげることの重要性と競争ではなく共存し人権意識から多様性を尊重する社会を築くことの大切さが議論され、上野さんの「この発信が全国から来た皆さんの中に広がって、横にも縦にも繋がっていくという事を心から期待しております」の言葉で締めくくりました。

## 2日目

### 分科会1

#### 「女性リーダー養成」

情報提供者：福岡県男女共同参画センター「あすばる」

三重県男女共同参画センター「フレんてみえ」

福岡県男女共同参画センター「あすばる」からは平成24年から平成29年に実施した「ふくおか女性いきいき女性塾」を紹介、さらに平成30年には、見直しと改善を加えた「あすばるキャリアアップ・カレッジ」の事業概要と成果報告をしました。

三重県男女共同参画センター「フレんてみえ」からは「女性のための政治入門講座」の事業を実施し、受講者から市議会議員1名と



グループワークを実施

町議会議員1名が誕生したとの成果報告がありました。

### 分科会2

#### 「男女共同参画センターのネットワークの可能性」

ネットワークの可能性

情報提供者：(公財) せんだい男女共同参画財団

大規模災害時に「男女共同参画センター同士」のネットワークの可能性とネットワークが地域社会やセンター利用者にとの様なメリットをもたらすのかについて相互支援システムの意味なども含め、車座で参加者同士が意見を出し合い情報共有を行いました。

### 分科会3

#### 「日常的暴力被害と精神科疾患」

竹下 小夜子 氏

(精神科医/さよワイメンズ・メンタルクリニック院長)

日常的暴力被害と精神科疾患について、精神科疾患の発症率の男女差、暴力による精神的影響やストレスの耐性などについて講義を行い、DVや虐待被害者の支援や相談時の対応について具体的な説明がありました。

竹下小夜子さんは暴力被害者の心理的回復の基礎として、周囲のエンパワメントを行い、他者との新たな結びつきをつくるのが大切と話しました。



## 第12回事業企画大賞



### 事業企画大賞

熊本市男女共同参画センターはあもにい  
「男女共同参画の視点に立った防災」の次への一步

### 奨励賞

クレオ大阪中央  
大阪市立男女共同参画センター中央館  
女性チャレンジ応援拠点

### 奨励賞

浜松市男女共同参画・文化芸術活動  
推進センターあいホール  
2017年度浜松市委託人材育成事業  
「はままつ女性スクール」  
「はままつ女性カレッジ」  
「はままつ女性ラボ」

矢野恵美さんの話は、JKビジネスは買う側にも問題があるとの見解もあり従事者に罪の意識をもたせることが難しい上、当事者の声を全く聞いていない現状で、私たちは「誰のどんな権利を守り、誰のどんな行為を罰すれば良いのか？」という課題提供から始まりました。JKビジネスは性犯罪につながり可能性が高く、未成年者の人権問題に深く関係しているものの、未だ法的支援策は十分ではないこと、一部地域では条例での対応を始めていること、海外での状況などを説明しました。



分科会4  
「JKビジネスの状況」  
矢野 恵美 氏（琉球大学大学院法務研究家教授）

## デートDV防止啓発「ラジオCM」制作 “高校生のことば”で若者に届ける “ステキな恋をするために”



### デートDV事例

- 「一緒に帰ろう」編
- 「ライン」編
- お互いを尊重している二人の事例
- 「一緒に帰ろう」編
- 友達に相談されたときの事例
- 「いってはいけないキーワード」編

協力：與儀牧子先生、那覇国際高等学校1年生（自主参加により20名）  
淵上佳奈、黄東森、北島瑚子、大兼梨奈、長嶺彩季、加持恵達、大城陽平、渡真利峻斗、伊計怜香、喜舎場すみ、金城莉奈、座波ひなた、柴田瞳、新垣日菜、謝敷乃愛、井上健、城間基、真栄城麦、山本紳司、城間ルミカ（クラス番号順）

## 女性に対する暴力防止啓発パネル & パープルリボンツリー



沖縄県男女共同参画センター「にている」ではこの運動のシンボルマークであるパープルリボンに飾ったツリーを設置しました。また、エントランスホールでは、女性に対する暴力防止啓発のパネル展も同時開催しました。

11月10日（土）には、男女混合で4つのグループにわかれ、ラジオCMがより臨場感や世代感ができるように高校生同士で意見を出し合いシナリオを作成しました。  
録音したCMは沖縄県男女共同参画センターのラジオ番組「にているちゃんが行く！」で二度に亘り放送されました。

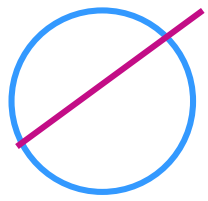
デートDV防止啓発  
「ラジオCM作成」  
“高校生のことば”で若者に届ける  
“ステキな恋をするために”  
with那覇国際高等学校

【ラジオ放送】  
ラジオ沖縄 にているちゃんが行く！  
11月23日（金）、11月30日（金）  
18：05～18：10 放送

【期間】  
一人でも多くの人が、デートDVに関する正しい知識と理解を持って防犯対策し、自分への被害を防ぎ、被害が必ず発生しないようにしたいと願っています。  
※本展覧会は無料です。お申し込みは不要です。お申し込みの必要はありません。  
※本展覧会は11月23日（金）～11月30日（金）の期間で開催いたします。お申し込みの必要はありません。  
※本展覧会は11月23日（金）～11月30日（金）の期間で開催いたします。お申し込みの必要はありません。

女性に対する暴力をなくす運動  
11月12日～11月25日





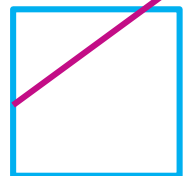
すてきなあなたにインタビュー

## 与那国に生きる、小さな島でもできること

たさとなるこ

DiDi与那国資料館 企画スタッフ

田里 鳴子



平成28年に開館し、与那国島の歴史・文化を継承しながら、環境交流促進の拠点となっている「DiDi与那国交流館」。開館当時から企画スタッフとして働いている田里鳴子（たさとなるこ）さんにお話を伺いました。

### 大好きな与那国島への恩返し

田里さんは与那国生まれの与那国育ち。大学進学にともない与那国を離れ、沖縄本島で大学生を送りました。「この島が好きだったし、島のために何かしたい、恩返ししたい」という思いで卒業後、与那国島に帰ってきました。帰島後与那国町役場に採用され、与那国町議会事務局に配属されました。先輩たちに倣い、地方自治法や過去の判例事例を資料や本に「こより」を挟みながら勉強しました。のちに長年勤務した経験と実績を評価され沖縄県の市町村で女性としては初の議会事務局長になりました。

### 40歳での挑戦

しかし、田里さんの「島のために何かしたい」という気持ちは他にもあったそうです。それは「公共の図書館を作ること」

与那国島には学校図書館はあるが、公共図書館や本屋がない。日本最西端、絶海の孤島と呼ばれる与那国島。「小さな島には教育が必要だ。教育には本が必要だ」とずっと思っていました。

図書館をつくるには図書館司書がいなければならぬ。40歳前半で「資格を取りに行こう」と決心しました。仕事を休職し、子どもを残し、沖縄本島の大学で開講された2ヶ月ほどの短期講習で図書館司書の資格を取得し島に戻りました。「これで図書館ができる」最初は倉庫ようになっていた公民館の図書スペースを整理するところから始まりました。協力してくれる友人もいましたが、公共図書館設立はそう簡単に進みませんでした。その後、別の課へ異動となり、地方公務員の退職を迎えました。

### あきらめずに、やり残したこと

町役場職員時代では図書館を作ることでもできず、図書館司書の資格を活かす事もできませんでした。「いつになったら、図書館や資料館ができるのだろうか・・・やり残した事がある」その時、新聞で見つけたのが、「与那国資料館」のラボスタッフ募集でした。

「島の人たちがこの資料館を訪れ、自分たちの島を知り、誇りに思い、そして次の世代に繋げる」今後の島の未来が見える気がしました。

2016年から約1年間は、退職した女性たち30名ほどに声をかけ「まるんなの会」を結成。みんながひとつになって先人が残してくれた遺産文化を、次の子どもたち世代に繋いでいくための活動をしました。

現在、田里さんは「島をよくしたい！島の魅力を伝えたい！島の歴史史料を後世に残し、伝えたい！」という強い想いで69歳を迎える今なお精神的に働いている。「DiDiを島の人も、気軽に島の歴史文化に触れられる資料館にしたい。人生100歳時代。まだ島には恩返しできていないと思ひ、やらないうけない事がたくさんあるから」と田里さんは力強く語った。



田里 鳴子  
DiDi与那国資料館 企画スタッフ

日本最西端の独特な文化・歴史などを学ぶことができる「風ラボ」、民族芸能の唄や踊りの鑑賞や体験ができる「唄ラボ」、与那国の食文化・郷土料理を味わえる「食ラボ」の3つのラボを通して、与那国をまるごと楽しく体験できる施設。DiDi与那国交流館のディディは島の言葉で、「行こう行こう」の意味。

<お問い合わせ／ご予約>

TEL:0980-87-2166 FAX:0980-87-2166

■営業時間 9:00~17:00

■休日 月曜日・年末年始(12月29日~1月3日)

■アクセス 与那国空港より車で10分



DiDi(ディディ)与那国交流館

# 事業報告と講座案内

## (公財) おきなわ女性財団

### 【スマートフォン・タブレット教室】いきいきシニアのタブレット教室♪

実施日：11月2日（金）  
講師：KDDI株式会社認定講師  
場所：ているる1階 ふれあいサロン

### 【健康講座】知っておくとイイ！認知症の基礎知識

実施日：11月16日（金）  
講師：神谷進氏  
（介護老人保健施設 友愛園 沖縄県認知症介護指導者）  
場所：ているる3階 研修室1・2

### 【ジェンダーを考える教室】(出前講座) はえばるの「男女共同参画」を考える～ひとりひとりが自分らしく～

実施日：11月20日（火）  
講師：新垣誠氏（沖縄キリスト教学院大学人文学部長）  
場所：南風原町役場3階 庁議室

### 【相談員研修】 第4回 国籍法と戸籍法～国籍と戸籍を通して考える人権～

実施日：12月20日（木）  
第1部：「沖縄の無国籍児問題と人権」  
講師：平田正代氏（元国際福祉相談所ケースワーカー）  
第2部：「無戸籍者をなくすために」  
講師：友利勝彦氏（那覇地方法律事務所 戸籍課長）  
場所：ているる1階 ホール

## 出前講座 in 与那国島

### 【男性の家事育児参画講座】(出前講座) かんたん☆かわいい♡たのしい♪ 風船で遊ぼう！

実施日：11月23日（金）  
講師：お父Ringメンバー 熊本浩平氏、新垣誠氏  
場所：与那国中学校体育館（与那国福祉祭り会場）

### 【ジェンダーを考える教室】(出前講座) 健康なココロとカラダ、まずはここから！～男女共同参画ってなに？～

実施日：11月23日（金）  
講師：新垣誠氏（沖縄キリスト教学院大学 人文学部長）  
場所：与那国構造改善センター

島民の心身の健康増進を目的として開催される与那国町の「福祉祭り」にお邪魔して、家族でバルーンアートを楽しむ「男性の家事育児参画講座」、そして自分らしく生きる大切さを学ぶ「ジェンダーを考える教室」を開催しました。



## 参加者募集！

お問い合わせ&お申込み (公財)おきなわ女性財団 TEL:098-868-3717

### 地域リーダー養成講座

- 第1回「地域リーダーの役割とリーダーシップ」  
【日時】2月2日（土）14時～16時 【講師】関幸子氏（ローカルファースト研究所 所長/代表取締役）
- 第2回「先輩リーダーに学ぶ！地域で人気の取組み・人気の企画」  
【日時】2月16日（土）14時～16時 【講師】南信乃介氏（繁多川公民館 館長）
- 第3回「チームビルディングでファシリテーション」  
【日時】3月10日（日）14時～16時 【講師】仲間暁子氏（株式会社note 代表取締役）

【場所】ているる3階 研修室1・2 【受講料】1,000円（全3回受講で2,000円になります）賛助会員は各回500円（全3回で1,000円） 【対象】地域で活動している方、これから活動したい方、テーマに関心がある方

### 防災講座「あなたのまちにも災害は、やってくる！」

- 第1回「地域の災害と特色を知る」  
【日時】2月9日（土）14時～16時 【講師】神谷大介氏（琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース 准教授）
- 第2回「わたしにもできる防災・減災」  
【日時】3月9日（土）14時～16時 【講師】坂田静香氏（特定非営利活動法人男女共同参画おた 理事長）

【場所】ているる1階 ふれあいサロン 【参加費】各回500円 【対象】興味のある方

## 参加者募集!

### スマートフォン・タブレット教室「ふたりではじめる シニアによるシニアのためのスマホ教室(ペア編)」

入門編 2月22日(金) 13時30分~15時  
基礎編 2月25日(月) 13時30分~16時30分  
応用編 2月27日(水) 13時30分~16時30分

【講師】那覇市シルバー人材センター 房前 三男 氏&スマホ班スタッフ

【内容】貸出機を使用してスマホ操作を体験。同年代の講師がワクワク・ドキドキのスマホの楽しさをお伝えします!

【場所】ているる 1階 ふれあいサロン

【受講料】入門編1,000円(2人で) 基礎編、応用編2,000円(2人で)

【対象】スマホを始めたいシニア。ご夫婦、親子、お友だちなどシニアお一人を含むお二人でお申し込みください。

### 健康教室「ミニランポリンで健康運動」

【日時】3月3日(日) 10時~12時 【場所】ているる1階 フィットネスルーム 【受講料】500円

【内容】ミニランポリンを使って、体幹を鍛え姿勢をよくする体操を行います。

【講師】尾尻 孝子 氏(うちな~ミニランポ、HAT-Robics JAPAN 公認インストラクター) 【対象】運動に興味のある方

## 沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

### セルフマッサージオイル作り

実施日: 11月24日(土)  
講師: ゆかれん 氏(森のアロマセラピールーム香蓮-CAREN-オーナーセラピスト)



### 畑さ~が教えるうちな~の味

実施日: 11月28日(水)  
講師: 仲座 恵子 氏(みなみの味グリーン・ツーリズム副会長)



### ているる祭

実施日: 11月17日(土)

内容: 施設利用団体および個人に活動成果発表の場を提供するとともに、施設の活性化を図ることを目的に開催。ホールとエントランス一部の2会場で展開した。①ステージ部門では、キッズダンスやハワイアンフラなど子ども向けの団体や、棒術や空手、エイサーなどの団体も出演した。②展示・販売部門では習字や苔玉盆栽の展示、器や革製品、加工食品などの販売を行った。③ワークショップでは手作りカードやアクセサリーを実施した。



## 参加者募集!

お問い合わせ&お申込み  
沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 TEL: 098-866-9090

### ハーブ料理教室

【日時】2月27日(水) 10時~13時  
【内容】ハーブを使った美味しい料理を生産者が教えます。  
【場所】ているる3階 生活実習室  
【講師】新里 みどり 氏(ハーブの里みどり農園代表)  
【受講料】2,500円



イメージ画像

## ～ている相談室～

沖縄県男女共同参画センター「ている」では相談窓口を開設しています。  
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010	男性相談 TEL : 098-868-4011
	一般相談 特別相談	一般相談
日時	火曜～土曜 10:00～20:00	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話／面接(面接は予約制)	電話のみ
相談内容	生き方、性格、夫婦・親子関係、対人関係をはじめ様々な悩みや問題に関する相談を行っています。 ◆国際相談 外国人との結婚・離婚などの様々な問題に関する相談。	男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。 秘密は厳守しますので、ひとりで悩まず、お気軽にお電話ください。
お休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)	祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

## ～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。  
頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

●特典：情報誌「ているるちゃんがいく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。  
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。

●年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円

※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

財団HPをご覧になるか、(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

## おきなわ女性財団事業業務嘱託員募集！

平成31年4月から勤務できる職員の方を募集しています！  
講座の企画・実施、チラシ作成、SNSでの広報業務、エクセル・ワード・パワーポイントを使用した事務作業など！男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発を行います。

勤務時間：8:30～17:00(7.5時間)

勤務日数：月18日勤務

基本給：月額8,800円

任用期間：2019年4月1日～2020年3月31日(更新有り)

平成30年度講座実績

女性起業塾、相談員研修、DV講座、防災講座、ワークライフバランス講座、地域リーダー養成講座など

問い合わせ

公益財団法人おきなわ女性財団

TEL:098-868-3717(担当：新里・山内)

おきなわ女性財団インフォ～♪  
フォローお願いします！



沖縄県男女共同参画センター  
マスコットキャラクター  
「ているるちゃん」



facebook



twitter



ていーだブログ

## 沖縄県男女共同参画センターから ているホール改修工事のお知らせ

2019年1月から3月まで、改修工事の為、ホールのご利用はできません。ご迷惑をお掛けしますが、どうぞよろしくお願い致します。

沖縄県男女共同参画センター「ている」 〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1

発行月：平成31年2月

表紙写真 大屋 玲奈

発行：公益財団法人おきなわ女性財団

TEL:098-868-3717 FAX:098-863-8662

HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

TEL:098-866-9090 FAX:098-866-9088

HP: <http://www.tiruru.or.jp/>